

薬学英语 3

責任者・コーディネーター	機能生化学分野 中西 真弓 教授		
担当講座・学科(分野)	機能生化学分野、分析化学分野、生体防御学分野、構造生物薬学分野		
対象学年	3	区分・時間数	講義 12 時間
期 間	後期		
単 位 数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

薬学の専門家になるために必要な英語の医療用語を身につける。英語で記載された医薬品関連文書などの内容を理解するため、読解力を高める。また、生物学の英語教科書に添付されている DVD を活用し、内容を聴き理解する能力を修得する。

・教育成果（アウトカム）

医療現場を設定した英会話や、英語で記載された医薬品関連文書を読むことを通して、薬学の専門家になるために必要な医療用語を習得し、読解力を高めることができる。生物学の教科書に添付されている英語の DVD を視聴することにより、英語による説明を聴いて内容を理解する能力を修得できる。
(ディプロマ・ポリシー：5,7,9)

・到達目標（SBO）

1. 免疫学、生化学や細胞生物学の内容を英語で説明している DVD を視聴して、内容を説明できる（☆）。
2. 薬学研究における英語の必要性を説明できる。
3. 生物・医学・薬学分野の基礎的用語を英語で表現できる。
4. 英語の生物・医学・薬学分野の文章や医薬品の添付文書を読むことができる（☆）。

・講義日程

(矢) 西 103 1-C 講義室

月日	曜日	時限	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
9/30	水	2	構造生物薬学分野	阪本 泰光 准教授	<p>薬学専門用語の習得と薬学分野の英文読解、ヒアリング</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 薬学分野の基礎的用語を英語で表現できる。 2. 薬学分野の文章を読むことができる。 3. 構造生物学分野の視聴覚教材を聴き取ることができる。 <p>事前学習：医薬品の添付文書の指定箇所を読み、大体的内容を理解する。 事後学習：講義で扱った薬学専門用語を復習する。添付文書や細胞生物学の視聴覚教材の説明文を音読しつつ、その内容を理解する。</p>

10/12	月	3	構造生物薬学分野	阪本 泰光 准教授	<p>薬学専門用語の習得と薬学分野の英文読解、ヒアリング</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 薬学分野の基礎的用語を英語で表現できる。 2. 薬学分野の文章を読むことができる。 3. 構造生物学分野の視聴覚教材を聴き取ることができる。 <p>事前学習：医薬品の添付文書の指定箇所を読み、大体の内容を理解する。 事後学習：講義で扱った薬学専門用語を復習する。添付文書や細胞生物学の視聴覚教材の説明文を音読しつつ、その内容を理解する。</p>
10/21	水	4	生体防御学分野	大橋 綾子 教授	<p>薬学専門用語の習得と薬学分野の英文読解、ヒアリング</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 薬学研究における英語の必要性を説明できる。 2. 薬学分野の基礎的用語を英語で表現できる。 3. 薬学分野の文章を読むことができる。 4. 免疫学分野の視聴覚教材を聴き取ることができる。 <p>事前学習：医薬品の添付文書の指定箇所を読み、大体の内容を理解する。 事後学習：講義で扱った薬学専門用語を復習する。添付文書や細胞生物学の視聴覚教材の説明文を音読しつつ、その内容を理解する。</p>
10/28	水	4	生体防御学分野	大橋 綾子 教授	<p>薬学専門用語の習得と薬学分野の英文読解、ヒアリング</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 薬学分野の基礎的用語を英語で表現できる。 2. 薬学分野の文章を読むことができる。 3. 免疫学分野の視聴覚教材を聴き取ることができる。 <p>事前学習：医薬品の添付文書の指定箇所を読み、大体の内容を理解する。 事後学習：講義で扱った薬学専門用語を復習する。添付文書や細胞生物学の視聴覚教材の説明文を音読しつつ、その内容を理解する。</p>
11/4	水	4	分析化学分野	藤本 康之 准教授	<p>生物・医学・薬学分野の用語を英語で学ぶ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生物・医学・薬学分野の用語を英語で表現できる。 <p>事後学習：講義で扱った薬学専門用語を復習する。添付文書や細胞生物学の視聴覚教材の説明文を音読しつつ、その内容を理解する。</p>

11/18	水	3	分析化学分野	藤本 康之 准教授	<p>生物・医学・薬学分野の文章を読む</p> <p>1. 生物・医学・薬学分野の文章を読むことができる。</p> <p>事前学習：医薬品の添付文書の指定箇所を読み、大体の内容を理解する。</p> <p>事後学習：講義で扱った薬学専門用語を復習する。添付文書や細胞生物学の視聴覚教材の説明文を音読しつつ、その内容を理解する。</p>
11/25	水	4	機能生化学分野	中西 真弓 教授	<p>薬学専門用語の習得と薬学分野の英文読解、ヒアリング</p> <p>1. 薬学分野の基礎的用語を英語で表現できる。</p> <p>2. 薬学分野の文章を読むことができる。</p> <p>3. 生化学分野の視聴覚教材を聴き取ることができる。</p> <p>事前学習：医薬品の添付文書の指定箇所を読み、大体の内容を理解する。</p> <p>事後学習：講義で扱った薬学専門用語を復習する。添付文書や細胞生物学の視聴覚教材の説明文を音読しつつ、その内容を理解する。</p>
12/2	水	4	機能生化学分野	中西 真弓 教授	<p>薬学専門用語の習得と薬学分野の英文読解、ヒアリング</p> <p>1. 薬学分野の基礎的用語を英語で表現できる。</p> <p>2. 薬学分野の文章を読むことができる。</p> <p>3. 生化学分野の視聴覚教材を聴き取ることができる。</p> <p>事前学習：医薬品の添付文書の指定箇所を読み、大体の内容を理解する。</p> <p>事後学習：講義で扱った薬学専門用語を復習する。添付文書や細胞生物学の視聴覚教材の説明文を音読しつつ、その内容を理解する。</p>

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	Drills for Medical English	高垣俊之	鷹書房弓プレス	2007
参	Essential 細胞生物学 原書第4版	中村桂子・松原謙一 監訳	南江堂	2016

・成績評価方法

定期試験（100%）により評価する。

・特記事項・その他

事前・事後学習は講義内容の指示に従うこと。復習として、講義で配布した資料に出ている薬学専門用語を覚え、英文の内容を理解すること。また、講義で視聴した生物・医学・薬学分野の英文を書く練習をすること。

これらの学習には、各コマに対して、事前に1時間、事後に1時間程度を要する。さらに、定期試験前に13時間程度の総復習の時間を確保する必要がある。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	パソコン	1	講義資料の投影、および視聴覚資料再生のため